



ジョン・エルウィス John Elwes テノール



英国生まれ。中世から現代にまで及ぶ広いレパートリーを持ち、ヨーロッパ古楽界において最も経験豊かな名手として高い評価を受けている。ウェストミンスター大聖堂聖歌隊に在籍中ベンジャミン・ブリテンに見出され、ブリテンと放送やコンサートで共演、作品の献呈も受けている。その後、ロンドン王立音楽院に学び、オペラや宗教曲のソリストとしてレオンハルト、ヘレヴェッヘ、クイケン、マルゴワールらの指揮の下、モンテヴェルディ、ヘンデル、ラモーらの主要なオペラの主演、バッハの両受難曲やカンタータ、ヘンデルのオラトリオなどを歌い、多数のCDも発売されている。1990年に初来日以来、ヘンデル《メサイア》、モンテヴェルディ《オルフェオ》、《聖母マリアの夕べの祈り》、バッハのマタイ、ヨハネの両受難曲（福音史家）、シューベルトやシューマンの歌曲など、数多くのコンサートで聴衆を魅了している。渡邊順生と共に録音したシューベルトの三大歌曲集や『アイルランド歌曲集』などのディスクも好評を博している。



渡邊 順生 Yoshio Watanabe ラウテンクラヴィーア

アムステルダム音楽院にてチェンバロをグスタフ・レオンハルトに師事。最高榮譽賞付ソリスト・ディプロマを得て同音楽院を卒業、更に、プリ・デクセランスを受賞。その後ヨーロッパ各地にて演奏活動を行ない、1980年帰国。以来、古楽器演奏の啓蒙と普及に努め、精力的な演奏活動を展開し、チェンバロ、フォルテピアノ、クラヴィコード奏者及び指揮者として活躍。ヨーロッパの名手・名歌手たちと多数共演。特にテノールのジョン・エルウィスとは、モンテヴェルディのオペラやミサからシューベルトやシューマンの歌曲に至る幅広い分野で頻繁に共演している。多数のCDをリリース。『モーツァルト：フォルテピアノ・デュオ』（ALMレコード）で2006年度レコード・アカデミー賞（器楽曲部門）を受賞。また、楽譜の校訂や論文の執筆なども手がけ、著書に「チェンバロ・フォルテピアノ」（東京書籍）がある。2010年度サントリー音楽賞受賞。上野学園大学客員教授、国立音楽大学、桐朋学園大学及び東京音楽大学講師。



「全ての鍵盤楽器の中で最も美しい音色」と評される ラウテンクラヴィーア

「リュートチェンバロ」とも呼ばれ、見た目はチェンバロながら、羊の調を材料としたガット弦が張られ、優しい音色が特徴。バッハが愛した楽器と伝えられ「全ての鍵盤楽器の中で最も美しい音色」と評されるほどですが、近年まで忘れ去られていました。

今回は、渡邊氏所有の貴重な復元楽器を使用いたします。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする
宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール（052-265-1715）までお問合せ下さい。

交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫番出口より東へ徒歩4分

くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com
宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~18:00
年中無休 (年末年始、施設メンテナンス日を除く)